琉球大学学術リポジトリ

環境正義思想に見る先住民族の世界：アリュート研究を中心に

メタデータ	言語:
	出版者: 琉球大学
	公開日: 2016-05-13
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 神沼, 尚子, Kaminuma, Shoko
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/30799

様式第１３号

琉球大学大学院
人文社会科学研究科委員会　殿

博士論文審査委員会
主査　浜崎 盛康　印
副査　鈴木　規之　印
副査　喜納　育江　印

学位（博士）論文審査の結果報告書

このたび、博士論文審査委員会として、学位論文の審査を終了しましたので、その結果について、下記の通り報告します。

記

学生番号　078093		学生氏名　神沼　尚子	
人文社会科学研究科　比較地域文化専攻		主指導教員　浜崎盛康 副指導教員　鈴木規之　喜納育江	
成績評価	学位論文	合格　不合格	
論文題目	環境正義思想に見る先住民族の世界－アリュート研究を中心に－		
審査要旨	本論文は、アラスカ先住民であるアリュート人に対する強制移住について、環境正義を中心に、多角的な視点から論じたものである。 まず、環境正義についての主要な研究者の考え方を検討し、自らの環境正義の考えを明確に規定し、次に、第二次世界大戦時に行われたアリュート人の強制移住について、*Personal Justice Denied*や*The Civil Liberties Act* 等の一次資料を駆使し、また*Aleutian Sparrow* 等の文学作品の分析を通して、アリュート人の強制移住と戦後のその補償について、詳細に論じ明らかにしている。そして、以上の考察を基に、アリュート人の強制移住が環境人種差別であったこと、戦後の補償が最終的には環境正義がなされたと評価できることを論証している。 さらには、アリュート人の問題は他のアラスカ先住民（イヌイット、インディアン）やアイヌにも共通のバイオリージョンの侵害とその補償として捉えられることを論じている。 他にも、本論文は先住民の視点からの環境思想の歴史を環境正義の背景として位置づけてあらたに記述を試み、あるいは公民権運動との関係を明らかにする等、重要な論証を展開している。 もちろん、本論文は未だ論証が不十分で、荒さが残る点があることは否定できないが、しかし本審査委員会は本論文が優れた独創性を持ち、また的確で重要な主張を行っているものと認め、学位審査基準を満たしていると判断した。		

様式第１４号

琉球大学大学院
人文社会科学研究科委員会　殿

博士論文審査委員会
主査　浜崎盛康　印
副査　鈴木規之　印
副査　喜納育江　印

最終試験の結果報告書

このたび、博士論文審査委員会として、最終試験を終了しましたので、その結果について、下記の通り報告します。

記

学生番号　078093G		学生氏名　神沼　尚子	
人文社会科学研究科　比較地域文化専攻		主指導教員　浜崎盛康 副指導教員　鈴木規之、喜納育江	
成績評価	最終試験	(合格)　不合格	
結果要旨	副査鈴木規之の総括のもとで、申請のあった博士論文の内容とそれに関連する授業科目について口頭による最終試験を行った。本論文題目は、「環境正義思想に見る先住民族の世界―アリュート研究を中心に―」である。以下の三点を軸に試験を行った。 まず、口頭試問での関連質問を行い、本論文が学位の水準に達していることを確認した。次に、本論文に関連する基礎的な専門知識や自らの論文の研究上の位置づけを査読論文を含めて問い、研究上の貢献があったことを確認した。そして、本論文で取り上げた研究分野に関係する授業科目、「環境文学」「比較死生学」の中で取り扱われるバイオリージョナリズム、「比較地域文化」などの視点において、学位に相応しい研究能力とその学識を有していることを確認した。 以上の点から、本審査委員会は、本論文に加え、その分野における学位の水準に達していると認め、最終試験に合格と判断した。		